



フタコブラクダが生まれました

大島公園動物園で飼育しているフタコブラクダの「カエデ」が3月18日(火)の朝、出産しました。カエデは令和5年5月の来園以降はじめての出産でした。大島公園動物園でラクダが生まれるのは約45年ぶりのことです。カエデは落ち着いて子育てをしています。生まれたのはオスの子で、現在の体重は80kgを超え、母親のあとをついて回るなど、活発な行動が見られています。伊豆大島の椿祭りと桜ウィークの間に生まれたということで、「椿桜」と書いてツバサと名付けています。母子が安心できる環境づくりを第一とし、ラクダ舎の環境や室内と屋外の出入りに慣らしているところですので、静かに見守ってください。

なお、屋外放飼(展示)の有無や予定に関するご質問にはお答えすることができません。ご理解くださいますようお願いいたします。



フタコブラクダの親子の様子 (2025年4月4日撮影)